



東北復興 PSW にゆうす

今号も被災地・東北の現在を皆様へお届けすべく、福島県支部長から巻頭言をご寄稿いただきました。長い復興の道のなかで、さまざまな「縁」の大切さもお伝えしていければと願っております。

支部長メッセージ



「私の今の思い」～福島県から～

(公社) 日本精神保健福祉士協会福島県支部
福島県精神保健福祉士会
支部長・会長 鈴木長司 (東北病院)

皆様、ひとりの精神保健福祉士として、毎日奮闘されていることかと思えます。お疲れ様です。前回の「東北復興 PSW にゆうす」の岩手県精神保健福祉士会会長の品川さんから、『思い』のバトンを受けました。今回は、福島の鈴木が今の『思い』をお伝えしたいと思います。



東日本大震災から、今年で6年が経とうとしています。6年という年月は、長かった様で短かったかな、短かった様で長かったかな、という感覚で非常に複雑な感情です。また、去年は個人的な部分で最悪な1年であり、これ程まで悪いことが続くのかと思わずに少々めげていたのですが、年も明けて新たな気持ちで進んでおります。

マスコットキャラクター

「えんが〜る：福ちゃん」

現在の福島県は、まだまだ復興の途中であります。ゆっくり目ではありますが、着実(?)に進んでいます。4,890戸の復興公営住宅は、もう少しで全戸完了となります。しかし、今までの仮設住宅が取り壊されたり、規模が縮小されたりしながらも、現在も尚、仮設住宅に住み続けなくてはいけない方々は、まだ大勢いらっしゃいます。そして、避難されている方々は、復興公営住宅に転居したり、アパートに移ったり、土地や建物を購入したり、新しく住宅を建てたりと様々な違う環境に移られていきます。これからがまた、大変な心労が重なっていくのです。国は、今までの経過により予想がつくのですから、しっかりとした対応とそれに対する予算立てをお願いしたいという思いです。「こころのケア」はまだまだ必要とされます。これからが正念場なのかもしれません。



コーヒータ임 (浪江町事業所) 調印式

私は、2011(平成23年)年4月に福島県精神保健福祉士会が相談支援専門職チーム(介護支援専門員協会、医療ソーシャルワーカー協会、社会福祉士会、作業療法士会、理学療法士会、当会)に参画を表明してから、様々な支援を仲間としてきました。現在も尚、サポートセンターに支援に行っていますが、つくづく支援者支援が大事ではないかと痛感しております。今までの他の被災における検証において、支援者の疲弊が注目されていたにも関わらず、それに対する施策が不十分であると言わざるを得ません。今後はもっと皆で考えていかななくてはならないという強い思いがあります。紙面が少なくなってきましたので、この辺で今の思いを閉じたいと思いますが、避難されている方々は、皆さん明るく頑張られています。私こそエネルギーを貰えます。これからも、皆で共に進んでいこうと思います。

皆さんも福島に来てくなんしょない。

浪江町より感謝状をいただく



「ぐんま暮らし応援会」

～東日本大震災復興支援活動助成金を活用した、
群馬県精神保健福祉士会活動のご紹介～

東日本大震災復興支援委員会 委員 小淵恵造（群馬県支部）

この度、群馬県精神保健福祉士会では、東日本大震災復興支援活動助成金をいただきました。助成金を利用した活動内容について構成員の皆様にご報告させていただきます。

2011年3月の震災後、福島県を中心に多くの方が群馬県に避難してこられました。震災から6年が経過した今でも900名を超える避難者の方が群馬県で生活しています。こうした避難者の方々への支援を目的として震災の翌年に県内の法律・福祉等の関係機関が加盟する「ぐんま暮らし応援会」が設立されました。

「ぐんま暮らし応援会」の中心となる活動として「訪問支援員による避難者宅への戸別訪問」があります。訪問支援員はご自身も被災され、群馬県に避難してこられた避難者であり、訪問先で聴き取ったことをご自身の経験と重ね合わせて葛藤することも少なくありません。そこで、訪問支援員自身の葛藤の整理や自身の体験が戸別訪問で活かされること、訪問支援でのバーンアウトを防ぐこと等を目的として定期的に「支援員ミーティング」を行い、群馬県精神保健福祉士会の会員がミーティングのアドバイザーとして訪問支援員の方々の精神的疲弊を軽減するための支援をしています。

今回いただいた助成金は、支援員ミーティングのアドバイザーとして活動する会員の活動費等として利用させていただきました。貴重な助成金を有効に活用し、避難者の方々が少しでも安心した生活を送ることができるよう今後も活動を続けていきたいと思っております。

★お知らせ★ -被災地事業所とつながる Web リンク-

本協会では、復興支援の一環として、被災地の障害福祉サービス事業所をホームページで紹介しております。その地域の特徴がよく出た素敵な製品に出会えるかも！？
ぜひお立ち寄りください！

<http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho/link.html>

皆様との縁…つながり・
リンク、ご意見・ご感想
などなど、心より願って
おります♡

★特集予告★【復興支縁ツアーin みやぎ】)

「東日本大震災第復興支縁ツアーin みやぎ」が2017年3月18日、19日に開催されます。

ツアーの様子は次号に特集としてご紹介いたしますので、もう少々おまちください(^_^)!



マスコット
キャラクター
「えんが〜る」

【ご意見・ご感想をお寄せください】

本紙では被災した各地の仲間へのメッセージ及び被災地からの情報発信など、相互交流ができる紙面づくりを目指しております。全国どなたからのメッセージでも構いません。本紙へのご意見・ご感想も大歓迎です。それぞれのお立場からの声をお聞かせください。お寄せいただいたメッセージは、本紙や本協会 WEB サイトにてご紹介させていただきます（原則として投稿者氏名以外の個人情報に掲載いたしません）。

メッセージ投稿方法：東日本大震災復興支援委員会宛の FAX もしくは E-mail(office@japsw.or.jp)にてお願いいたします。

★★題名に「PSW にゆうすについて」とご記入をお願いいたします。★★

第27号 2017年3月15日発行

発行：公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援委員会

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993

★URL：<http://www.japsw.or.jp/>

★東日本大震災復興支援サイト <http://www.japsw.or.jp/ugoki/f-jyoho.html>